

自分を超越る

新たな一歩

高校生でプロ契約をむすび、
次々に新たな記録を打ち立てる
セレッソ大阪 北野 颯太選手の強さの秘密に迫る。



a new step



セレッソ大阪
北野 颯太選手 (FW)
生年月日:平成16(2004)年8月13日
出身:和歌山県

4歳からサッカーをはじめ、小学4年生からセレッソ大阪のサッカースクールエリートクラスに入る。セレッソ大阪U-15に所属するため、中学生の時、大阪に引っ越す。令和4(2022)年2月25日、17歳のときにプロ契約をむすぶ。ルヴァンカップの鹿島アントラーズ戦でプロ初ゴールを決め、勝利に貢献。クラブの公式戦最年少得点記録となる。ニューヒーロー賞も受賞。高校生の受賞は史上初となる。



自分が決める。強い気持ちで前へ進む

好きを仕事に 家族への感謝

プロを本格的にめざしたのは中学生の時。セレッソ大阪U-15に所属し、レベルの高い環境でプレーすることで自然と芽生えてきた。家族がどれほど自分を支えてくれていたのかは成長するにつれて

わかってきた。転職してまで大阪についてきてくれる母のたいへんさ、和歌山に残り単身生活をする父のさみしさも、はじめはわからなかった。ただ新しい世界に飛び込むことにワクワクしていた。大阪でサッカーをするという決断を迷いなく後押しし、自分を信じ、応援してくれた家族には心から感謝している。

高校生活は かけがえのない時間

高校は興國高等学校に通った。サッカーに集中できる環境だったが、出席や宿題の提出に苦労した。担任の先生や校長先生、友だちがサッカーと学業の両立を支えてくれた。

体育祭はサッカーの遠征で一度も参加できなかったけど、友だちと話をするだけで毎日おもしろかった。他のスポーツでプロをめざす同級生に刺激も受けた。

プロになっても、タイトルをとっても、余裕はない。もつと点をとりたい。自分が1ゴールを決める。それがチームの勝利やタイトルにつながる。ライバルは自分自身。誰かと比べる必要もない。小さな一つ一つの積み重ねが今の自分にかえってくる。家族や友だち、仲間、ファンに恩返しをしたい。自分が上に行きたい。その強い思いを力に変え、今日も、全力でピッチに走っていく。



©CEREZO OSAKA



©CEREZO OSAKA

